

休眠預金活用事業 事業計画書

基本情報

事業名	バスケットボール夢授業と試合観戦
実行団体	熊本バスケットボール株式会社
事業の種類	③ソーシャルビジネス形成支援事業

バージョン	初回
-------	----

事業名	スポーツクラブによる困窮世帯支援事業
資金分配団体	一般社団法人RCF

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域	分野
1) 子ども及び若者の支援に係る活動	①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

その他優先的に解決すべき社会の諸課題

--

I.団体の社会的役割

(1)団体の目的
熊本ヴォルターズは、熊本県内外を問わず、プースター・パートナー・行政・地域社会など、熊本ヴォルターズに関わる全ての人と共に創り出すエネルギーを波及させ、熊本そして九州全域を元気にします。
(2)団体の概要・活動・業務
プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ（Bリーグ）」の運営・経営。バスケットボールその他各種スポーツクラブの経営及びスポーツトレーニング施設の運営、興業及び仲介。また、その他各種スポーツ教室の開催及び普及。スポーツ用品、玩具等の販売。

II.事業概要

実施時期	2021年7月～2022年2月	直接的対象グループ	熊本県 一人親家庭を中心とする経済困窮家庭の子ども	間接的対象グループ	対象とするこどもの家族
対象地域	熊本県	人数	500名	人数	500名程度
事業の概要	<p>ひとり親の子供達の繋がり作り(コミュニケーション機会)を提供する体験プログラムを計10回、累計500名を対象に実施する。 プログラムのコンテンツとして、以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現役選手による子ども達への夢授業（オンラインorオフライン）・バスケットボール教室・食育等の体験の提供 こども食堂への支援 ホームゲームへの観戦機会の提供 				

III.事業の背景・課題

(1)社会課題
新型コロナウイルス感染症の蔓延や5年前の熊本地震、令和2年7月豪雨災害等における被災地の現状から、生活困窮者支援が数多くあり、子ども達が未来への夢を持ち続けて、元気に生活していくことを支援する必要がある。
(2)課題に対する行政等による既存の取組み状況
コロナ禍において行政等による以下のような取り組みがあるが、ひとり親家庭の子ども達への心のケアは不十分である。
①雇用調整助成金、持続化給付金、新型コロナウイルス感染症特別貸付、など ②災害復旧住宅の提供や住宅再建支援金、など
(3)休眠預金等交付金に係る資金の活用により本事業を実施する意義
行政が十分に取組みしていない分野であるこども達へのコミュニケーション機会の提供により、地元クラブとしてスポーツの試合観戦や参加を通じて、遅く生き抜くことの素晴らしさを伝え、特に、TOPチームの選手との交流や子ども食堂での食事会等を実施することで、未来に向けての自らの夢を想像することが可能になると同時に、人とのつながりを感じられ、心のケアにつながる。また熊本ヴォルターズとして参加者を募ることで、福祉協議会単体ではアウトリーチすることが難しい層へ効果的に事業を普及することが可能。

IV.事業設計

中長期アウトカム
ひとり親家庭の子どもや、社会から孤立する子どものつながり(コミュニケーション)機会を提供可能な組織として県内のあらゆる機関から認知されている状態。 子ども食堂との連携による「ヴォルターズ食堂」の運営や「スクール活動」、地域の子供達のチャレンジ精神や好奇心を育む「夢授業」を体系化し、地域の子供を取り残さないスポーツクラブの取り組みのモデルとなる。

短期アウトカム	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
ひとり親家庭の子どもが人とのつながりや未来への希望を感じ、孤独感・孤立感が軽減されている	ひとり親家庭の子どもが人とのつながりや未来への希望を感じ、孤独感・孤立感が軽減されている	コロナ禍により、特にひとり親家庭のこどものコミュニケーション機会が不足し、孤独・孤立を感じている状態	体験プログラムに参加した子どもの人とのつながり(コミュニケーション機会)が増えている状態	2022年2月

アウトプット	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
体験プログラムの実施	・体験プログラム実施回数 ・体験プログラムの参加者数	実施経験なし	・体験プログラム回数：5~10回 ・参加者数：500人	2022年2月
アンケートの取得	・アンケート取得率 ・アンケートの回答結果	なし	・アンケート取得率：80% ・ポジティブな変化が見られた回答：60%以上	2022年2月

アウトプット[No.1]に対する活動

活動内容	活動時期
・ひとり親の子供達の繋がり作りを促進する日帰り体験プログラムを計10回(参加者合計500名)実施する。	2021年8月~2022年2月

アウトプット[No.2]に対する活動

活動内容	活動時期
・参加した子どもについて、アンケートを取得するとともに、連携団体の社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会と振り返りを行い支援の改善につなげる。	2021年8月~2022年2月

V.インプット

人材	資機材
担当スタッフ	なし

VI.持続可能性

持続可能性1	・本助成事業終了後においても、地域社会の課題は現存しており、熊本ヴォルターズの設立理念では地域貢献と同時に、子ども達に元気や勇気を与えることを目標としており、継続的活動として事業を行う予定
持続可能性2	・子ども食堂：健軍商店街内や食材商社との連携により、会費や支援金等での運営継続を目指す ・TOPチーム選手の活動内容として、定着させる

VII.広報戦略および連携・対話戦略

広報戦略	熊本ヴォルターズのホームページや契約選手のSNS、チラシ等を予定 熊本県内の地元紙、テレビ・ラジオ局、その他、マスメディア等の取材あり。
連携・対話戦略	社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会：ひとり親家庭のこどもの集客、事業運営に掛る連携、本事業の企画・振り返り